

## 三宅島

### ○概況（平成17年2月）

引き続き山頂火口から火山ガスの放出が続いています。

今期間噴火は発生していません。火山性地震は、7日に182回観測されましたが、その他の日は少ない状態が続いています。また、地殻変動観測の傾向には変化は見られず、従来からの山体浅部での収縮、深部での膨張が続いています。

以上のように、火山活動は、全体として大きな変化はありません。

今後も山麓に降灰をもたらす程度の小規模な噴火の可能性はありますが、現段階で大規模な噴火につながる兆候は認められません。また、二酸化硫黄を含む多量の火山ガスの放出はしばらく継続すると考えられますので、風下にあたる地区では引き続き火山ガスに対する警戒が必要です。また、雨による泥流にも注意が必要です。

表1 三宅島 火山情報発表状況

| 火山情報名                                   | 発表日時                        | 概要  |
|---|-----------------------------|---|
| 火山観測情報第60号<br>↓(1日2回発表)<br>火山観測情報第105号  | 1日 09:30<br>↓<br>23日 16:30  | 噴煙・地震・微動・空振・火山ガス・地殻変動の状況、上空からの観測結果、及び上空の風・火山ガスの移動予想 |
| 火山観測情報第106号                             | 23日 17:30                   | 第100回火山噴火予知連絡会検討結果                                  |
| 火山観測情報第107号<br>↓(1日2回発表)<br>火山観測情報第116号 | 24日 10:00<br>↓<br>28日 16:35 | 噴煙・地震・微動・空振・火山ガス・地殻変動の状況、上空からの観測結果、及び上空の風・火山ガスの移動予想 |

### ○火山ガス噴出活動及び火口内の温度の状況

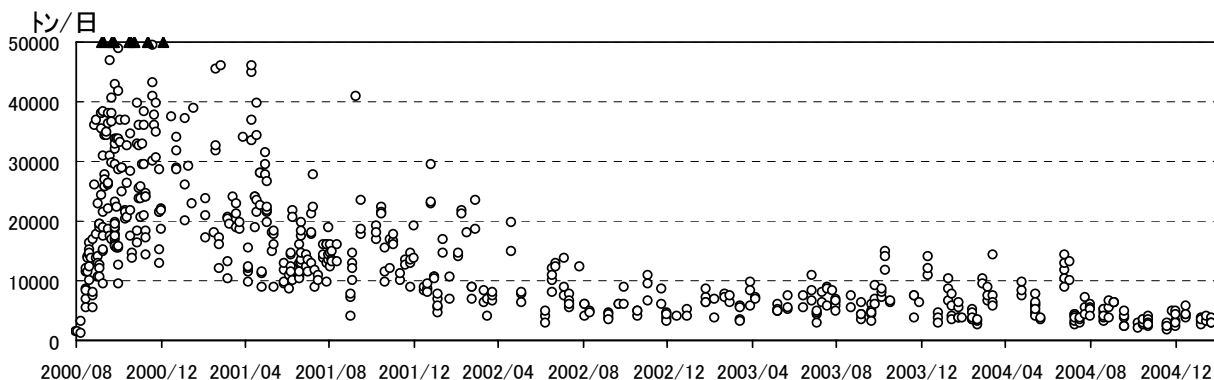
二酸化硫黄の放出量\*は、2002年秋以降、1日あたり3千～1万トン程度で横ばい傾向が続き、2004年秋以降、1日あたり2千～5千トン程度とやや少なくなっていますが、依然として多い状態が継続しました(表2、図1)。

火口内の最高温度\*については大きな変化はみられませんでした(図2)。

\*陸上、海上及び航空自衛隊、海上保安庁、東京消防庁、警視庁の協力による観測。

表2 三宅島 二酸化硫黄の放出量と火口内最高温度の観測結果

| 観測実施日 | 二酸化硫黄放出量(日量)                    | 火口内最高温度 | 協力機関  |
|-------|---------------------------------|---------|-------|
| 2月2日  | 3,800トン 3,200トン 2,300トン 3,500トン | 188℃    | 航空自衛隊 |
| 2月9日  | 3,200トン 4,000トン                 | 178℃    | 警視庁   |
| 2月15日 | 3,800トン 2,800トン 3,000トン         | 204℃    | 東京消防庁 |



注：▲は50000トン/日以上を表す。

図1 三宅島 二酸化硫黄放出量(2000年8月26日～2005年2月28日)

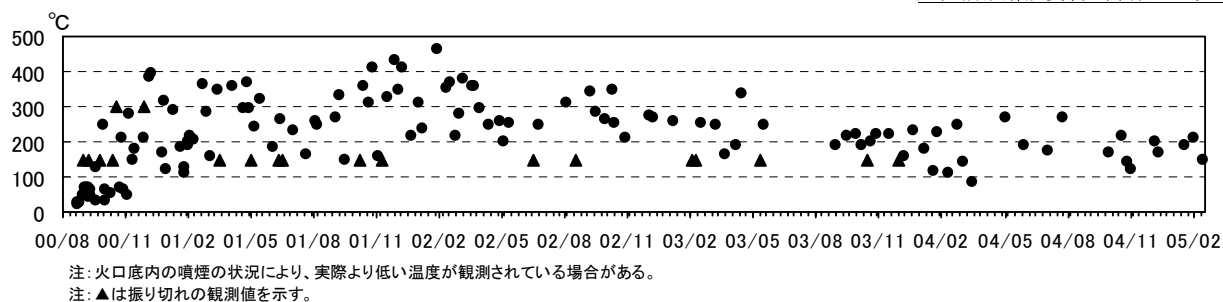


図2 三宅島 火口内温度(2000年8月26日～2005年2月28日)

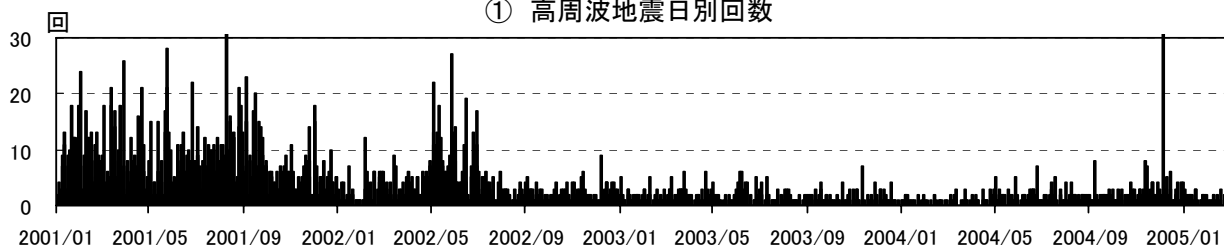
○地震活動及び微動の発生状況

火山性地震は、7日の11～14時にかけて一時的に増加し1日あたり182回が観測されましたが（うち、13時47分に発生した低周波地震では、三宅村神着、三宅村坪田で震度1を観測）、噴煙活動等に特に変化はみられませんでした。その他の日は少ない状態でした（表3、図3）。

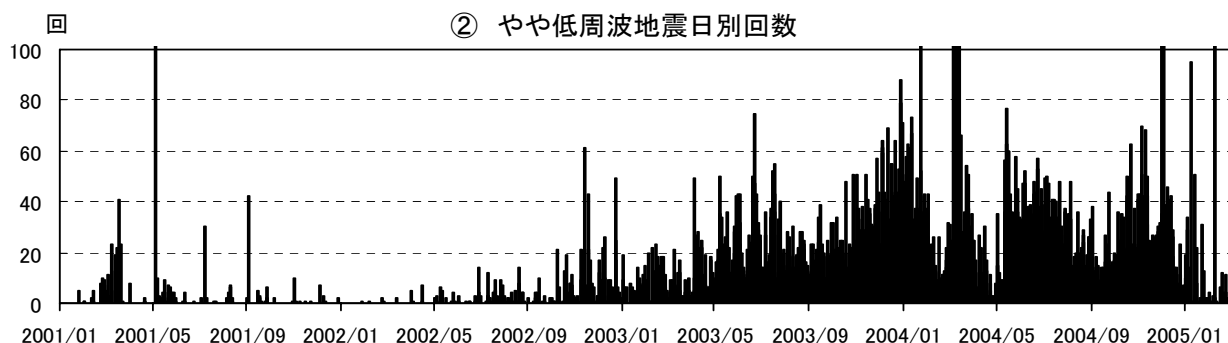
表3 三宅島 火山性地震日別回数表

| 上旬      | 1日  | 2日  | 3日  | 4日  | 5日  | 6日  | 7日  | 8日  | 9日  | 10日 | 旬計  |     |
|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 高周波地震   | 0   | 1   | 0   | 1   | 1   | 0   | 2   | 1   | 2   | 1   | 9   |     |
| やや低周波地震 | 1   | 0   | 1   | 0   | 1   | 3   | 177 | 2   | 0   | 1   | 186 |     |
| 低周波地震   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 1   | 3   | 0   | 0   | 2   | 6   |     |
| 中旬      | 11日 | 12日 | 13日 | 14日 | 15日 | 16日 | 17日 | 18日 | 19日 | 20日 | 旬計  |     |
| 高周波地震   | 0   | 2   | 0   | 0   | 1   | 0   | 0   | 3   | 0   | 0   | 6   |     |
| やや低周波地震 | 0   | 0   | 0   | 0   | 6   | 1   | 1   | 12  | 0   | 4   | 24  |     |
| 低周波地震   | 0   | 0   | 1   | 0   | 2   | 0   | 0   | 2   | 0   | 0   | 5   |     |
| 下旬      | 21日 | 22日 | 23日 | 24日 | 25日 | 26日 | 27日 | 28日 |     |     | 旬計  | 月計  |
| 高周波地震   | 1   | 2   | 1   | 0   | 0   | 0   | 3   | 0   |     |     | 7   | 22  |
| やや低周波地震 | 0   | 11  | 4   | 1   | 2   | 1   | 0   | 2   |     |     | 21  | 231 |
| 低周波地震   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   |     |     | 0   | 11  |

① 高周波地震日別回数



② やや低周波地震日別回数



③ 低周波地震日別回数

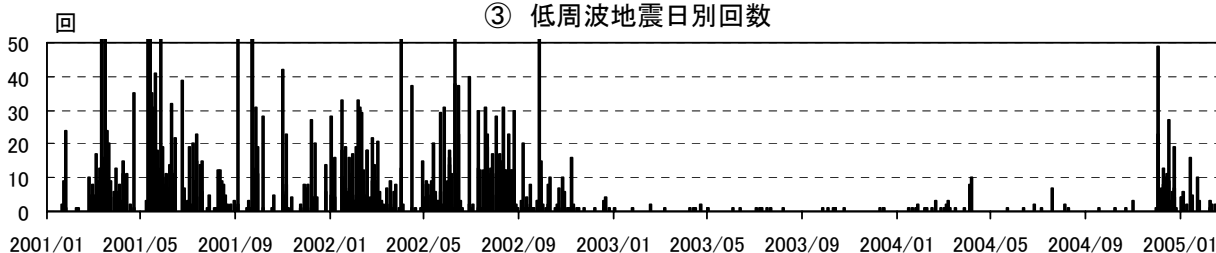


図3 三宅島 火山性地震日別回数（2001年1月1日～2005年2月28日）

連続微動の振幅は、2002年末から横ばい傾向が続いています（図4）。



図4 三宅島 連続微動の振幅(2000年7月7日～2005年2月28日)

### ○噴煙活動の状況

依然として活発な状態が続いています。

今期間、有色噴煙は確認していません。

白色の噴煙は連続的に噴出しており、高さの最高は火口上 700m（11日）でした（図5）。

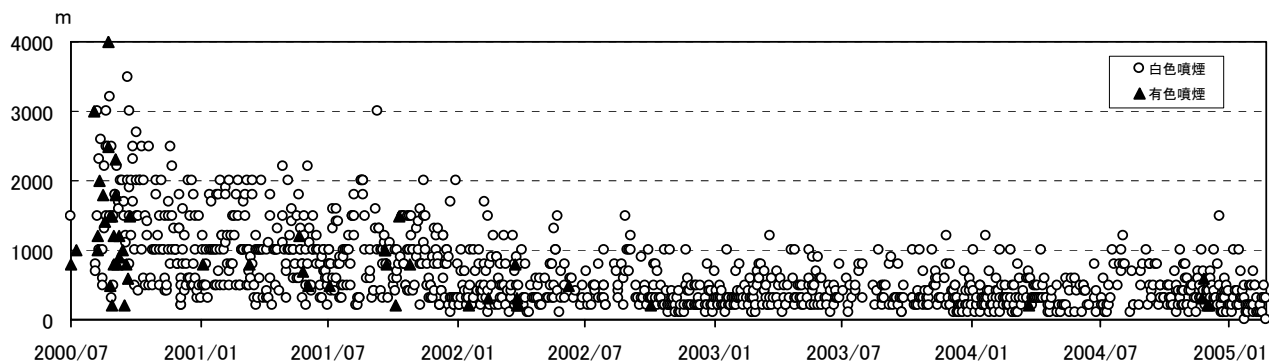


図5 三宅島 日最高噴煙高度(2000年7月8日～2005年2月28日)

○地殻変動の状況

GPS観測によると、ゆっくりとした三宅島の収縮を示す地殻変動が継続しています（図6）。

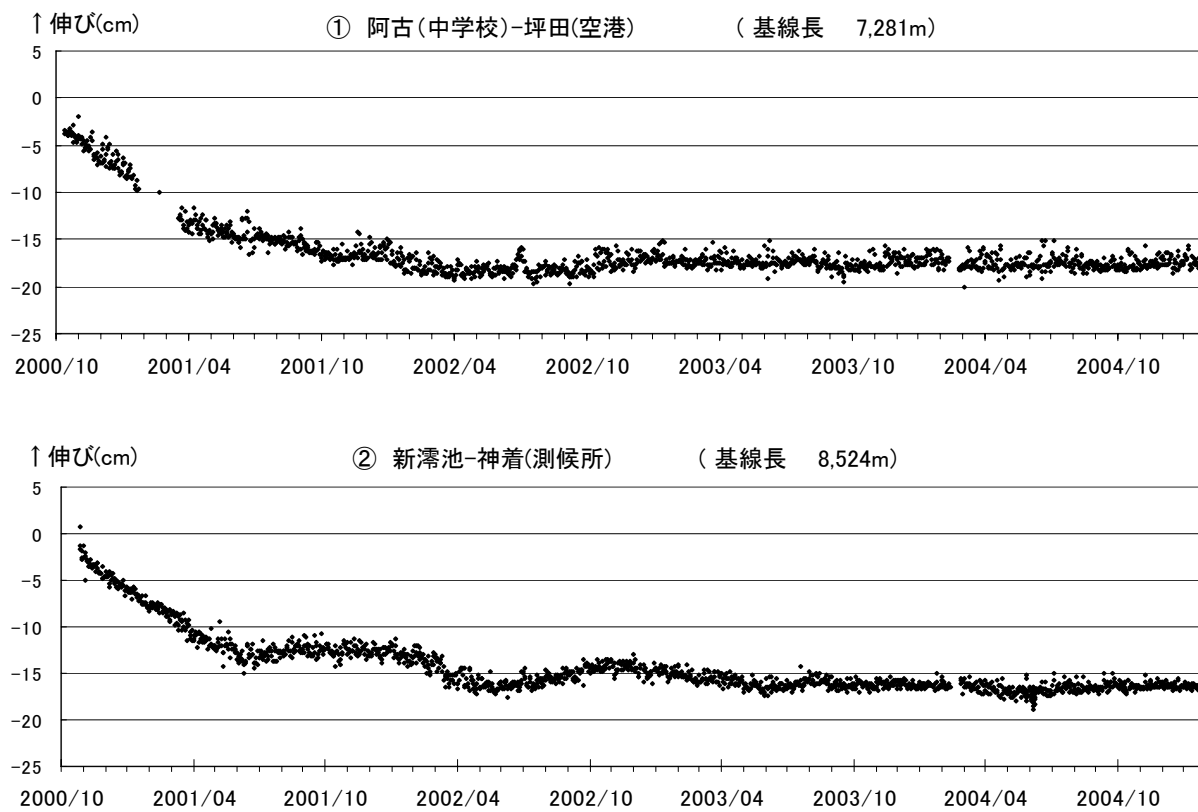


図6 三宅島 GPS観測結果(基線長変化) (2000年10月1日~2005年2月28日)

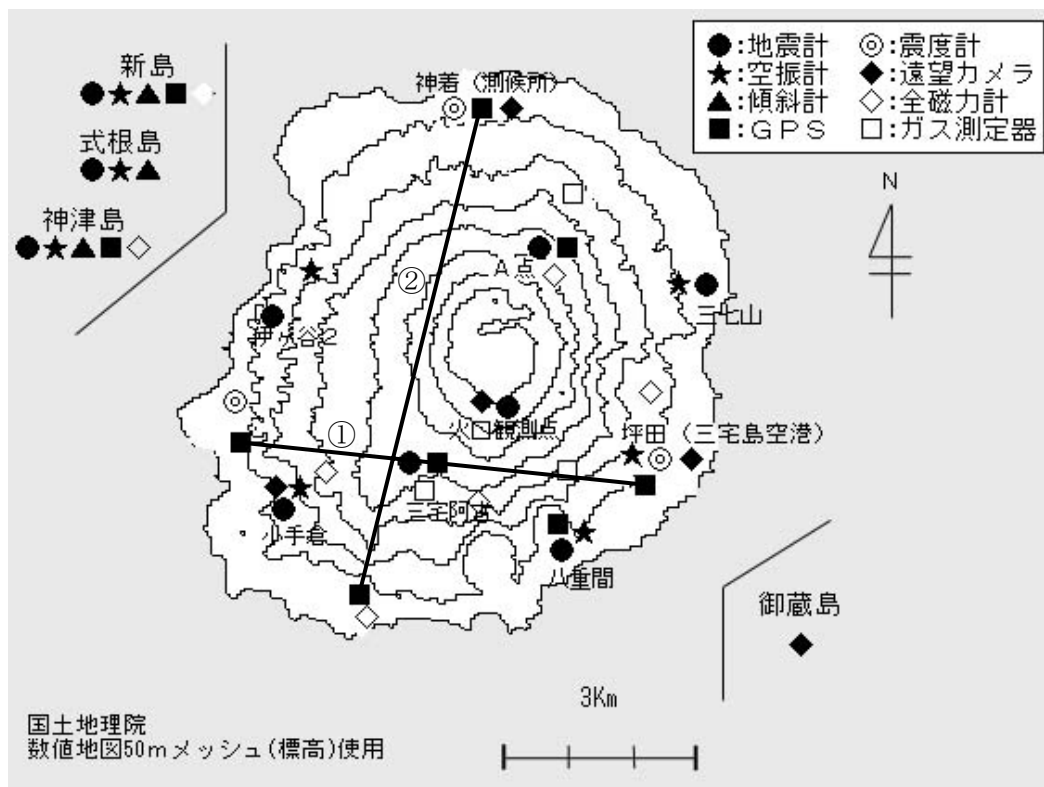


図6 三宅島 気象庁の観測点配置図